

平成 27 年度第 3 回松阪市立鎌田中学校校舎改築事業基本計画等策定委員会会議録

日 時 平成 27 年 7 月 26 日 (日)

午後 4 時 00 分 開始

午後 4 時 35 分 終了

(※午後 1 時 30 分から 4 時までワークショップ実施)

場 所 第四小学校 2 階読書室

出席委員

委員長	小 松 尚
副委員長	高 橋 秀 敏
委員 (代理者)	山 本 嘉
委員	平 生 尚 美
委員	鈴 木 逸 郎
委員	岩 田 雅 昭
委員	橋 爪 敏 昭

事務局

教育施設マネジメント室主査	池 内 正 樹
株式会社 都市研究所スペース	浅 野 健
取締役 計画室長	
名古屋大学大学院生・学部生	9 名 (院生 6、学部生 3 名)

【内 容】

1. ワークショップ (以下「WS」) の開催 (基本構想編)
 - ・コミュニティ・スクール (以下「CS」) として必要なこと、行いたいこと
2. WS 終了後
 - ・WS の振り返り
 - ・今後の進め方
 - ・その他

(第 2 回基本計画等策定委員会会議録について)

【WS 開催】

13:30－15:55

★参加者 49 名

地域住民代表 12 名

保護者 14 名

教員 13 名

鎌田中学生 9 名

地域づくり応援室 1 名

※その他

山中市長、東教育長、策定
委員会委員、名古屋大学関
係者、事務局

大人（地域住民代表、保護者、
教職員）が 8 つのグループ、鎌
田中学生が 2 つのグループに。
名古屋大学の学生、策定委員会
委員もそれぞれのグループに。

※テーブルに広げた大きな模
造紙の上に、思い思いの意見を
付箋等に記載しました。

山中市長よりあいさつ。

・・・鎌田中学校校舎改築事業では地域づくりと連動した学校づ
くり、住民のみなさんの声をしっかりと聞いた学校づくりを基
軸に考えています。・・・



小松委員長より「コミュニティ・スクールの可能性について」
講演（20 分程度）。

改築事業を進めるにあたってのポイントや参考となる事例
を紹介。



WS 実施（約 1 時間）。



各グループ発表（10 グループ、各 3 分程度で約 30 分）。



※詳細については、別途とりまとめを予定。



【WS 終了後】

16:00－16:35

事務局



委員長

委員

(主な意見等)

小松委員長より WS にかかる総括 (約 10 分)。

…地域や教職員の様々な意見や鎌田中の生徒達が日頃思っている意見を聞くことができ、有意義なワークショップとなりました。…地域の皆様の意見をお聞かせいただく機会として、今後もワークショップを開催することが予定されていますので、その節はご協力の程よろしくお願いいたします。

東教育長よりお礼の言葉。

…皆さんがどんな学校したいか、形にしたいのか、そういった議論を行政がしっかりと受け止め、支援させていただくにあたり、各課連携の下、検討してまいります。…

簡単ではございますがお礼の言葉とさせていただきます。

WS についてはお疲れ様でした。

それでは早速ですが、第 3 回松阪市立鎌田中学校校舎改築事業基本計画等策定委員会を始めさせていただきます。

進行について委員長よろしくお願いいたします。

皆様大変お疲れ様でした。

WS を実際に行ってみて、感じたことや率直なご意見等ありましたらお願いいたします。

- ・参加いただいた方それぞれが楽しそうだった。
- ・活動意見を抽出することとは別だが、校舎改築に向け夢や希望を描いていただける場となりよかった。
- ・大人のグループ (8 グループ) とは別に、生徒のグループ (2 グループ) を設けたことで、大人とは違う視点の生の声が聞けて大変参考になった。
- ・生徒については、子どもなりに地域へのかかわりを考えるいい機会となったし、先輩として未来の後輩たちに贈る想いを聞けてよかった。
- ・サポートいただいた名古屋大学の学生のリードが上手で、ス

委員長	ムーズな意見抽出に繋がった。うまく聞き出していただいた。 ・切実な意見も数多くあった。 ・地域や学校主体といった CS に係る様々な活動案が引き出され大いに参考になった。 ありがとうございます。 教員の皆さんが予想していた以上に地域の方と自然に打ち解け、また、熱心に話し合われていたことが大いに印象に残りました。 よそよそしいのではないかとといった心配事が払拭されました。 次回、基本計画案策定時の施設編においても、WS に期待できそうです。
委員長	つぎに、本で行った WS における活動案や意見については、名古屋大学に持ち帰りデータ化し、整理したうえで、次回策定委員会でお示しをいたします。 また、いずれ地域の皆様との共有ができればと思っていますので、今回の各グループの模造紙に書かれた意見をある程度まとめた形で、地域の皆様へ情報提供できればと思います。取り急ぎ、本日、このような形で開催をしましたよといったことを、現在の CS におけるホームページ（以下「HP」）の活用や「お便り」による周知がいただければと考えていますが、いかがですか。
委員	CS の HP は、鎌田中学校の HP が元になっている（第四小、港小へはリンクによる）。WS を開催したことをお知らせする原稿データがいただければすぐに掲載することが可能。また、HP は地域のご高齢の方はあまりご覧になれないので、紙による「お便り」がいいが、定期的には発行していないのでいつでもいいのですが、できれば学校が始まる 9 月ごろを目途に希望します。
委員	また、保護者と自治会長には渡りますが、各戸に対しては、回覧になります。各自治会には回覧をお願いしています。

委員長	HP への掲載に係る WS 開催についてのご報告データは名古屋大学側（スぺーシア）で作成し、データをお渡しするので、準備でき次第掲載をお願いいたします。 これから名古屋大学側で 10 日程度かけてデータ化し、とりまとめを行います。 つについては、次回策定委員会を 8 月末に予定したいので、その中で、WS 結果の考察をし、その後にダイジェスト版として地域に情報提供できればと考えます。 今回はそういったことも協議しましょう。
委員長	今後、基本構想を取りまとめるにあたって、WS とは別にアンケート等を実施し、基本的な計画等策定に係る方針（4 つのポイント等）に対する意見等も含めて各 CS 理事会でも協議していただき、その意見等を策定委員会へ伝えていただく（フィードバック）プロセスを考えていただきたい。
事務局 （スぺーシア浅野さん）	ひとつの例として、開かれた学校運営としての校舎利用とセキュリティ対策といった側面について、どう考えるか。 防災拠点施設として、鍵の管理を自治会等が担うことはある程度理解が得られていると思うが、他の活動において、セキュリティ面の強化をどのようにするか、また、学校施設利用制限をどのように考えるかなどがあげられる。管理上の責任を誰が担うのかといった様々な意見が出てくると想定される。
委員	各地域住民協議会や自治会などをお願いをし、改築に係る方向性の確認や CS に対する意見抽出といったことも検討します。
委員	時間的なことを考えるとアンケートを改めてというには時間の問題や費用のこともあるので、意見を受け付けるといった場を設けるなど考えたい。
委員	昨年秋（平成 26 年 11 月ごろ）に地域関係者、育成会、生徒や保護者等を対象とし鎌田中学校校舎改築にかかるアンケートを実施している。この結果についても利用できればと考える。
委員長	検討しましょう。

	愛知県のある自治体では、中学校の社会科の授業の一環として、校舎改築にかかる名大院生の提案を中学生に発表し、意見交換するグループワークを行い、大変好評であった。もし可能であれば、名古屋大学の学生が考える改築計画プランをベースに生徒からの意見等聞きだせるような授業が鎌田中学校でも可能か検討していただきたい。実際、実施できるかどうかや、時期的なことや内容的なことはまったく未定であるが、検討するに当たっての感触をお聞きしたい。
委員	調整は当然必要だが、可能であると思います。
委員長	ありがとうございます。検討します。 次回、第四回基本計画等策定委員会の日程については、8月31日午後6時より、鎌田中学校1回会議室でお願いいたします。 その他協議について、特に無し。 ※第2回基本計画等策定委員会会議録について、修正等意見は特に無し。 以 上